

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	タクシー（経営者）	・人の流れが増えている。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・遺族などには待ったなしで対応しなければならないことがいろいろとある。生前、本人が大切にしていた物やお宝だと考えていた物も、残された人にはゴミでしかない物も多い。こうした整理依頼が増えてきている。
	○	スーパー（副店長）	・新しい総理大臣誕生に期待し、少しでも景気が良くなってほしいという願いを込めている。
	○	乗用車販売店（経営者）	・これまで新車の長納期化を嫌って買い控えていた客が動き出している。給料の上昇傾向も新車購入の後押しになっている。
	○	自動車備品販売店（従業員）	・繁忙期になり、来客数の増加が見込まれる。
	○	その他専門店〔酒〕（店長）	・12月は当然、日本酒は動く月になるため、今月よりはやや良くなる。ただし、米の価格が1.5倍に上がっており、日本酒も米の加工品であるため、その頃には必ず価格が上がる。これまで体験したことのない上がり方をするために、そのときの客の反応が一升瓶から720ミリリットルに鮮明に変わるのか、飲食店の動きがどのように変化していくのか、不透明である。
	○	高級レストラン（経営者）	・10月の予約状況から、一旦弱まった景気も回復基調になっていくとみている。
	○	一般レストラン（経営者）	・猛暑続きの異常気象も落ち着き、多少なりとも動きが活発になることを期待する。
	○	観光型旅館（経営者）	・比較的都市部からの個人客は安定して利用している。今後はインバウンドに対しても営業をして、増えていくことを期待している。
	○	観光名所（職員）	・国内客が増えている。旅番組等のメディアでの取上げが効果を上げているようである。
	□	商店街（代表者）	・年末にかけて、値上げ通知が連発している。秋は食のイベントが続くので期待したいが、買い控えが心配である。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・現状に慣れたのか慣らされたのか、必要な物は必要ときに購入するケースが多い。消費意欲を刺激する施策や政策でもないと、購入意欲を上げることはできず、景気の良くなる要因は見当たらない。
	□	百貨店（経理担当）	・ターミナル駅の再開発による競合商業施設の開業の影響で、食品は引き続き苦戦が想定される。また、50歳以下の客の来店や購買が引き続き厳しいと、全体の売上に影響が出ると推測する。
	□	百貨店（営業担当）	・10月から食品、電気料金等が値上げされるため、なかなか消費が増えるとは考えづらい。ただし、富裕層については、順調に販売金額が増えている。
	□	百貨店（店長）	・当社のような地方小都市の百貨店では、顧客の高齢化や若年世代の百貨店に対する厳しい考え方もあり、なかなか売上は上向くことがない。今後2～3か月で大きな変化は見込めず、策もない。
	□	スーパー（経営者）	・最低賃金上昇がエネルギーコスト上昇分と相殺して、消費が崩れないと有り難い。
□	スーパー（経営者）	・物価上昇で、油、野菜、米、資材等、何でも高くなっている。一部の客では、今まで700円でお茶付き弁当の注文だったところ、1000円でお茶付き弁当の注文に変更したところがある。有り難いことだと、感謝している。	
□	コンビニ（経営者）	・日が段々と短くなり徐々に寒くもなるが、売上の的には昼間の時間帯が良いため、今後の売上はそれほど伸びないとみている。	
□	コンビニ（店長）	・客は比較的、安価な物を買っているようだが、本当に低価格な物に手が伸びる客も中にはいるが、多くの客はお金がないとか景気が悪いという割には、最安値の商材には手を出していないようなので、余り変わらないのではないかと。	
□	家電量販店（店長）	・客が節約傾向にある状況は変わらない。	

	□	一般レストラン（経営者）	・正直全く分からない。政権政党の総裁選挙や米国の大統領選挙の結果が、景気に良い影響を及ぼしてくれるのか。薄い期待感しか湧いてこない。
	□	スナック（経営者）	・7月中旬辺りから余り良くないが、理由が分からない。変わりそうな雰囲気もないので、しばらくはこのままではないか。新型コロナウイルス感染症は落ち着いているようで影響はないとみている。
	□	スナック（経営者）	・日によって、ばたばたと忙しくなる日も若干増えてきているが、相変わらず客が帰る時間が早い。翌朝のアルコールチェックが原因だとみている。この問題は簡単に解決できないため、先行きはなかなか期待できない。
	□	旅行代理店（副支店長）	・客の動き、乗客数や受注状況を踏まえると、需要の高い状態は維持される。
	□	タクシー運転手	・昼間は病院や買物客の利用があるものの、それ以外の客は、タクシーの利用を控えている。涼しくなってきたが、これからどうなるか不安である。
	□	通信会社（社員）	・新規サービス提供エリアの拡張で、多少の加入増加は見込めるが、例年、転居で解約も増える時期であるため、トータルではほぼ変わらない見込みである。
	□	通信会社（社員）	・現状維持が精一杯なのではないか。
	□	遊園地（職員）	・パブリシティの獲得や、イベントの開催等の積極的な集客施策の実施や情報発信を行い、より多くの客が来園することを期待している。
	□	ゴルフ場（副支配人）	・季節的に予約数は伸びているが、相変わらず平日の集客は難しい。
	□	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・連日の猛暑で外出を控えていた人も、行楽に良い季節となり、屋外レジャーが盛んになると外出するため、我々には厳しい状況になってくるのではないかとみている。
	□	その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	・27日の政権政党の総裁選挙やその後にあるといわれている解散総選挙、米国の大統領選挙等、政治によって変動する不安がある。
	□	住宅販売会社（経営者）	・中古別荘の販売状況は、シーズン当初に比べてやや鈍化傾向にある。
	▲	商店街（代表者）	・今後の見直しを変える要件が何もない。
	▲	スーパー（店長）	・値上げは続いており、買上点数は今までと同様か下がるとみている。
	▲	コンビニ（経営者）	・夏場と違い、秋は売上が下がっていくのは、例年のとおりだが、9月は休日のたびに台風や雨が続き、前年よりも乗客数が1日平均40人程度減少し、当然、売上も低下した。天候だけの原因ではなく、周りをみていると物価が上がって大変だと言っている人が多いので、これからも期待は余りできない。
	▲	コンビニ（経営者）	・物価高で、やや悪くなる。
	▲	コンビニ（経営者）	・競合店のリニューアルが完了し、新たな競合店の建設計画があるため、やや悪くなる。
	▲	コンビニ（経営者）	・人件費が上がる分、経費も増えるため、その分の売上が増えないと困る。いまだ物価高は続き、賃金が上がっていても景気が良くなることにつながらない。
	▲	コンビニ（エリア担当）	・金利の上昇により、やや悪くなる。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・新たな世界遺産登録により、旅行客の増加が期待できるが、現在のところ大きな変化はない。どちらかというと、10月以降の値上げ報道等により、徐々にぜいたくや外食等にお金を使うことを自粛する人が増えている。そうしたことから、この先は悪くなるのではないかとみている。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・10月1日から多くの品目において値上げがあり、個人消費はかなり落ちるとみている。旅行に関しても多少控えめになるのではないかとみている。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・現状の乗客数の推移や例年12月後半から1月後半にかけてはビジネス客の動きが悪くなるため、売上も比例して悪くなる。
	×	*	*
企業動向関連	◎	—	—
	○	食料品製造業（営業統括）	・新酒の時期になり、工場来場者数の増加、スーパーや業務店からの例年以上の注文を期待している。

(甲信越)	○	金属製品製造業（総務担当）	・半導体需要が回復し、やや良くなる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・年末に向けたボーナス商戦が始まり、消費に期待を持てる。ただし、消費財への支出が抑えられる可能性もある。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・今月は受注の動きが良く、この状況はもうしばらく続きそうである。しかし、物価高や資材関係の値上がりが見られ、懸念材料はある。
	○	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・9月もお彼岸過ぎにようやく暑さが収まってきた。これからいよいよ装飾品を身に付けるシーズンに入ってくるため、催事も多く、売上は多少回復できるのではないかと期待している。
	○	金融業（経営企画担当）	・物価高騰が一段落し、資金繰りの改善に期待する。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・季節商材の受注見込みはあるものの、店頭販売品の受注増加は一時的で、例年冬季は受注減少も予想されるため、見込みは薄い。
	□	電気機械器具製造業（従業員）	・10月、11月と値上げが続くため、今後も対応が厳しい。
	□	建設業（経営者）	・人手不足だが、受注は順調で景気は良いようである。
	□	金融業（調査担当）	・日本銀行の金融政策の変更に伴う為替等、实体经济への影響が読みにくく、観光関連業への影響や原材料価格の状況等を注視していく必要がある。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・新聞販売や折込出稿については、前年比微減が予想される。旅行収入は前年比30%プラスが予想されるものの、為替の円安傾向により、海外旅行の受注は皆無に等しい。
	▲	食料品製造業（総務担当）	・店頭での販売状況が余り良いとはいえない。
	▲	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・紙代や資材関係が10月1日から値上げされるため、当社の顧客に、書面で値上げを依頼する。やや厳しい状況が続くとみている。
	×	食料品製造業（製造担当）	・再値上げを予定しているが、大手が全く価格を上げてこないため、価格差が開き、販売量は間違いなく落ちる。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—
	○	職業安定所（職員）	・県内主要産業の1つである半導体製造装置関連業の回復が期待できる。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・購買意欲に変化はないため、変わらないのではないかと見ている。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	・求人を探している製造業において、現場作業者は採用に旺盛な企業が多いものの、設計や品質等の求人は、年齢、経験等の条件が厳しく、慎重な姿勢を崩していない。
	▲	職業安定所（職員）	・有効求人数が前年同月比で5か月連続減少している。
×	—	—	